

かながわの交通

2018
2

交通安全年間スローガン受賞作品(警察庁長官賞)
～一般部門B～(歩行者・自転車利用者)へ呼びかけるもの

反射材 自分をアピール 防ぐ事故



吾妻山の菜の花

(中郡二宮町)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(平成30年1月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成30年		2,114	18	2,525
平成29年		2,152	9	2,608
増減数		-38	+9	-83
増減率		-1.8	+100.0	-3.2

	総数	男	女
県人口	9,163,279	4,570,674	4,592,605
免許人口	5,622,500	3,224,702	2,397,798
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年1月1日、免許人口は平成29年12月末現在)

神奈川県内の交通事故発生状況と交通死亡事故の特徴(平成29年中)

●交通事故発生状況

区 分	全 交 通 事 故		
		増 減 数	増 減 率
発生件数	28,540件	+1,449件	+5.3%
死 者 数	149人	+9人	+6.4%
負傷者数	33,642人	+1,337人	+4.1%

※増減数(率)は前年対比です。

●交通死亡事故の特徴

- 年齢層別では、高齢者(65歳以上)が最も多く、70人で47.0%、前年比+16人と増加
- 状態別では、歩行中が最も多く、70人で47.0%、+31人と増加
- 年齢層別・状態別では、高齢者(65歳以上)の歩行中が最も多く、45人で30.2%
- 地域別では、県西部地区が-10人、高速道等-6人と減少、それ以外は増加
- 悪質・危険運転違反では、飲酒運転事故(14人+7人)が大幅に増加

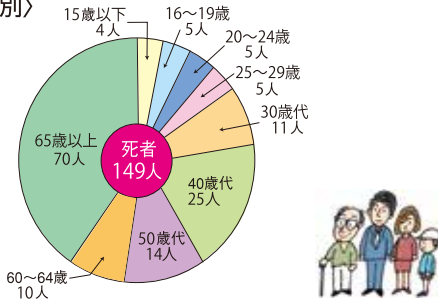
○発生件数~17年振りに増加

○死者数~2年連続150人以下、過去最少の昨年に次ぐ人数

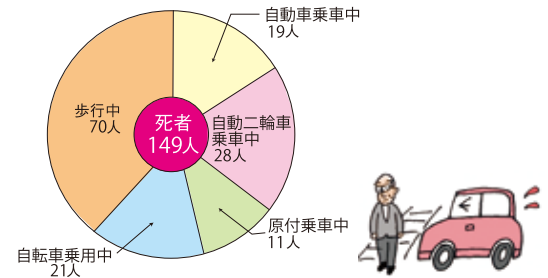
○負傷者数~17年振りに増加



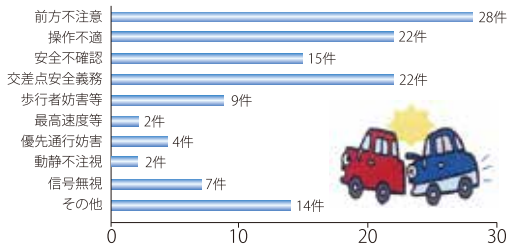
〈年齢層別〉



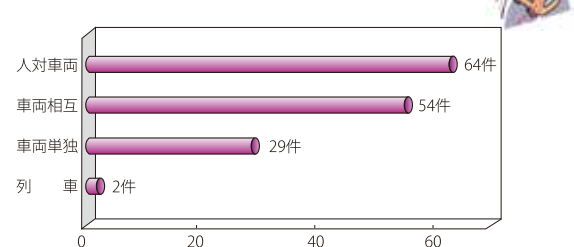
〈状態別〉



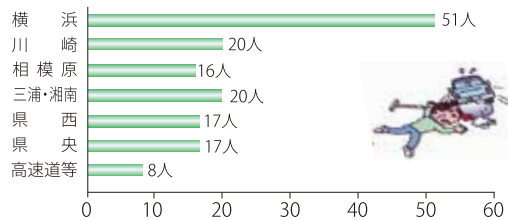
〈原因別〉(第一当事者原付以上運転者)



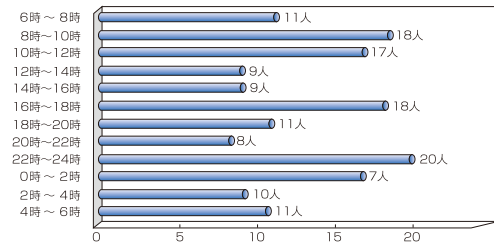
〈事故類型別〉



〈地域別〉



〈時間帯別〉



★主要都道府県別交通事故死者数(平成29年中)

順 位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	全 国
都道府県	愛 知	埼 玉	東 京	兵 庫	千 葉	大 阪	神 奈 川	北 海 道	茨 城	福 岡	静 岡	
死 者 数	200	177	164	161	154	150	149	148	143	139	128	3,694
前年比	-12	+26	+5	+9	-31	-11	+9	-10	-7	-4	-9	-210

警察署別交通事故発生状況
(平成29年中)

区分 署別	件 数				死 者 数				負 傷 者 数			
	29年	28年	増減数	増減率	29年	28年	増減数	増減率	29年	28年	増減数	増減率
加賀町	167	153	+14	+9.2	0	1	-1	-100.0	191	175	+16	+9.1
山手	189	173	+16	+9.2	3	4	-1	-25.0	220	191	+29	+15.2
磯子	394	345	+49	+14.2	1	4	-3	-75.0	463	409	+54	+13.2
金沢	596	469	+127	+27.1	3	1	+2	+200.0	722	545	+177	+32.5
南	549	513	+36	+7.0	0	7	-7	-100.0	639	567	+72	+12.7
伊勢佐木	298	272	+26	+9.6	0	1	-1	-100.0	355	324	+31	+9.6
戸部	398	446	-48	-10.8	1	0	+1	***	481	519	-38	-7.3
神奈川	650	592	+58	+9.8	3	2	+1	+50.0	764	691	+73	+10.6
鶴見	680	608	+72	+11.8	6	4	+2	+50.0	774	716	+58	+8.1
保土ヶ谷	574	567	+7	+1.2	1	3	-2	-66.7	660	659	+1	+0.2
旭	657	672	-15	-2.2	4	3	+1	+33.3	745	746	-1	-0.1
港南	534	515	+19	+3.7	4	3	+1	+33.3	614	603	+11	+1.8
港北	855	841	+14	+1.7	3	1	+2	+200.0	968	1,001	-33	-3.3
緑	489	477	+12	+2.5	6	1	+5	+500.0	570	580	-10	-1.7
青葉	839	839	±0	±0.0	3	5	-2	-40.0	962	1,004	-42	-4.2
都筑	648	644	+4	+0.6	1	1	±0	±0.0	781	766	+15	+2.0
戸塚	734	822	-88	-10.7	3	1	+2	+200.0	876	976	-100	-10.2
栄泉	247	217	+30	+13.8	2	2	±0	±0.0	282	234	+48	+20.5
瀬谷	379	401	-22	-5.5	3	2	+1	+50.0	435	477	-42	-8.8
横浜水上	549	494	+55	+11.1	4	3	+1	+33.3	666	583	+83	+14.2
川崎	15	21	-6	-28.6	0	0	±0	***	19	36	-17	-47.2
川崎臨港	444	403	+41	+10.2	5	4	+1	+25.0	508	462	+46	+10.0
幸	320	229	+91	+39.7	1	1	±0	±0.0	373	265	+108	+40.8
中原	415	423	-8	-1.9	4	1	+3	+300.0	481	494	-13	-2.6
高津	398	320	+78	+24.4	2	2	±0	±0.0	442	352	+90	+25.6
宮前	466	491	-25	-5.1	3	4	-1	-25.0	542	571	-29	-5.1
多摩	607	474	+133	+28.1	3	2	+1	+50.0	684	542	+142	+26.2
麻生	543	514	+29	+5.6	1	2	-1	-50.0	624	588	+36	+6.1
横須賀	441	364	+77	+21.2	1	1	±0	±0.0	506	406	+100	+24.6
田浦	708	750	-42	-5.6	2	4	-2	-50.0	854	896	-42	-4.7
浦賀	128	112	+16	+14.3	1	0	+1	***	149	128	+21	+16.4
三崎	527	422	+105	+24.9	4	6	-2	-33.3	628	504	+124	+24.6
葉山	137	140	-3	-2.1	1	1	±0	±0.0	162	180	-18	-10.0
逗子	121	104	+17	+16.3	0	0	±0	***	143	125	+18	+14.4
鎌倉	218	197	+21	+10.7	0	1	-1	-100.0	237	234	+3	+1.3
大船	436	402	+34	+8.5	2	0	+2	***	500	490	+10	+2.0
藤沢	221	182	+39	+21.4	1	1	±0	±0.0	257	212	+45	+21.2
藤沢北	849	692	+157	+22.7	2	2	±0	±0.0	1,008	832	+176	+21.2
茅ヶ崎	586	601	-15	-2.5	5	2	+3	+150.0	697	711	-14	-2.0
平塚	732	676	+56	+8.3	2	1	+1	+100.0	809	772	+37	+4.8
大磯	922	1,060	-138	-13.0	4	9	-5	-55.6	1,112	1,262	-150	-11.9
小田原	133	162	-29	-17.9	0	1	-1	-100.0	171	184	-13	-7.1
松田	948	950	-2	-0.2	6	8	-2	-25.0	1,152	1,187	-35	-2.9
秦野	367	377	-10	-2.7	4	4	±0	±0.0	434	487	-53	-10.9
伊勢原	421	406	+15	+3.7	0	3	-3	-100.0	487	485	+2	+0.4
厚木	284	296	-12	-4.1	3	2	+1	+50.0	328	345	-17	-4.9
大和	1,179	1,082	+97	+9.0	8	7	+1	+14.3	1,381	1,320	+61	+4.6
座間	1,253	1,066	+187	+17.5	6	1	+5	+500.0	1,416	1,240	+176	+14.2
海老名	466	423	+43	+10.2	1	2	-1	-50.0	555	499	+56	+11.2
相模原	391	381	+10	+2.6	2	1	+1	+100.0	445	462	-17	-3.7
相模原南	1,185	1,185	±0	±0.0	3	3	±0	±0.0	1,353	1,363	-10	-0.7
相模原北	973	840	+133	+15.8	7	0	+7	***	1,116	961	+155	+16.1
津久井	379	398	-19	-4.8	3	1	+2	+200.0	433	463	-30	-6.5
二交機	233	215	+18	+8.4	3	0	+3	***	287	277	+10	+3.6
高速隊	43	36	+7	+19.4	1	1	±0	±0.0	75	71	+4	+5.6
合計	625	637	-12	-1.9	7	13	-6	-46.2	1,106	1,133	-27	-2.4
合計	28,540	27,091	+1,449	+5.3	149	140	+9	+6.4	33,642	32,305	+1,337	+4.1

備考 増減率欄の「***」は、前年数値「0」を示す。

交通死亡事故抑止対策

月末・月初め6日間対策の実施 《神奈川県警察》

昨年、神奈川県警察では交通死亡事故抑止対策として、交通死亡事故が毎月末に多発傾向にあることから「月末6日間対策」、更には地域的に多発した横浜市内各警察署管轄地域を対象に「横浜エリアゼロ対策」、県西地区（平塚、大磯、小田原、松田、秦野、伊勢原の各警察署管内）を対象に「県西エリアゼロ対策」を実施した結果、交通事故により亡くなられた方は149人と過去最少であった平成28年に次ぐ人数となりました。

本年は、昨年の交通死亡事故が毎月末と月初めに多発傾向にあったことから、「月末・月初め6日間対策」として

○ 交通指導取締り、街角アドバイス、レッド警戒

を強化するとともに、交通事故の発生が多い地域の各警察署と第一・第二交通機動隊が連携して集中的に交通指導取締りを行うほか、各自治体や交通関係団体と連携して特別対策を周知するための広報啓発活動を推進することとしています。

（※本年の「月末・月初め6日間対策」は、3月、9月及び12月を除く54日間）

平成30年賀詞交歓会 《公益財団法人神奈川県交通安全協会》

1月25日（木）、ロイヤルホールヨコハマにおいて、黒岩県知事、斉藤県警察本部長をはじめ地区交通安全協会会長、関係機関・団体の代表者など多くの方々にご臨席をいただいて新春賀詞交歓会を開催しました。

はじめに主催者を代表して県協会石坂会長の挨拶、続いて来賓として黒岩県知事と斉藤県警察本部長から祝辞をいただいた後、去る1月19日東京都文京シビックホールで開催された交通安全国民運動中央大会で交通栄誉章緑十字金章・同緑十字銀章を受賞された方々に記念品を贈呈しました。

その後、県警察本部鳴海交通部長の乾杯挨拶で開宴し、受賞者の栄誉を讃えるとともに、昨年の交通情勢や本年の交通安全活動のあり方などについて、各団体の方々が意見交換を行って和やかに懇親を深めました。



神奈川県交通安全対策協議会総会

1月26日（金）、横浜市中区の横浜情報文化センターにおいて、「神奈川県交通安全対策協議会総会」が開催されました。

総会では、3年間以上連続して交通事故死者数を「ゼロ」に抑止した市区町村協議会（2団体）など、表彰基準に基づいて、昨年の交通事故防止をはじめ、地域の交通安全活動に多大な功労のあった市区町村協議会と団体（合計14団体）に、黒岩会長（県知事）から感謝状が授与されました。

交通安全部会、交通施設部会、踏切対策部会、暴走族追放部会及び高齢者対策部会の部会長やその代理者から、それぞれ平成29年度神奈川県交通安全対策協議会事業報告があり、続いて平成30年度神奈川県交通安全対策協議会事業計画案に対する一括審議が行われ、いずれも了承されました。

交通安全県民運動事業計画については、「第10次神奈川県交通安全計画」二年目である昨年の成果を踏まえ、年間スローガン、重点、年間運動、各季の運動等については、ほぼ昨年どおり取り組むこととしています。



第58回交通安全国民運動中央大会で表彰

去る1月19日、都内文京シビックホールで開催されました第58回交通安全国民運動中央大会において、優良交通安全協会として神奈川県から(一財)多摩交通安全協会と三浦市交通安全協会が表彰されましたので、ご紹介します。

(一財)多摩交通安全協会

〔沿革等〕

多摩交通安全協会は、昭和37年7月に稲田交通安全協会として発足しましたが、昭和47年4月に川崎市に区政制度が施行され多摩区となり、多摩交通安全協会と改称、さらに、平成23年9月に法人化をはかり、一般財団法人多摩交通安全協会として新たなスタートをきったのです。

川と緑と丘陵のまち多摩区は川崎市域の西北端に位置し、面積20.3平方キロメートルの地域に人口約20万人、北西から東南方向に県道川崎・府中線、東西方向に県道世田谷・町田線が走っており、その交差点脇、多摩警察署の敷地の一角に事務所を構えています。

〔組織と活動〕

当協会は代表理事の原田会長以下、理事6名・評議員5名・監事2名の本部役員その他、6支部から構成されており、事務局は事務長と4人の事務職員が勤務しています。

各支部は交通指導員、地域交通安全活動推進委員を含む15から20人の支部役員・支部員が所属し、地域の交通安全の確保や各期の交通安全運動・強化月間に取り組んでいます。

多摩区内の交通事故は、全体の約3割が自転車関連の事故であり、また、高齢者の事故も約3割を占めています。そのため、昨年は、例年実施している管内小学校15校の3年生に対する自転車安全教室のほか、市立中学校でのスケアードストレート方式の交通安全教室や県立高校の文化祭時に交通安全コーナーを設け、交通指導員、推進委員が積極的に出動するなど自転車安全教育を強化したほか、高齢者の事故が急増した際には、直ちにシルバードライビングスクールを開催するなど高齢者対策にも力を入れ活動してまいりましたところ、発生件数・負傷者数は微増してしまいましたが、死亡事故は1件にとどめ減少することができました。

このたび、「優良交通安全協会」として受賞の栄に浴しましたが、これも関係機関、団体の皆様のご指導のお陰と感謝申し上げる次第です。

今後も、一層多摩区の交通安全のために活動してまいりたいと思います。

【(一財)多摩交通安全協会：木 済 記】

三浦市交通安全協会

〔沿革等〕

三浦市交通安全協会は、昭和15年4月に発足し、それまで警察署内にあった安全協회를、警察署の移転に伴い昭和61年3月に警察署敷地内に移転し、現在に至っています。

〔組織と活動〕

高梨会長をはじめ、副会長・理事・交通指導員・地域交通安全活動推進委員・三浦市交通安全母の会・三浦市安全運転管理者会・三崎警察署が毎回がっちりスクラムを組んで、色々な交通安全運動を実施しています。

特に、春はキャベツを配布して「ま〜るいキャベツで三浦の事故無し!!」 秋は梨を配布して「三浦の事故梨!!」 年末は大根を配布して「三浦の事故大根絶!!」等、旬の採りたて野菜や果物を配布して行うキャンペーンは大変ご好評をいただき、三浦市民や観光客の交通事故防止に努めています。

その他、児童を対象にした交通事故防止キャンペーンや高齢者を対象にした交通安全講話、「ハンドルキーパー運動」や「違法駐車追放運動」なども積極的に実施し、地域の関心を高めようと努力しています。

毎年5月には、「三浦市自転車マナーアップ大会」と題して、市内8校の小学校から参加者を募り、「神奈川県子ども自転車大会」の予選会を開催し、昨年は「神奈川県子ども自転車大会」で5位入賞しました☆☆☆

この度は、「第58回交通安全国民運動中央大会」で受賞の栄を賜わり、大変名誉なことと思っております。

今後も、今まで以上に安全で快適な地域づくりを目指して、交通安全活動を推進してまいります!

【三浦市交通安全協会：青木 記】



交通事故の悲劇に学ぶ ⑤⑤

●「今」の延長戦 鉄工業：23歳

私は死亡ひき逃げ事件を起こしました。

車道を歩いている歩行者と接触、救護も通報もせずにその場から逃げました。そして、その約3時間後に被害者の方は亡くなられてしまいました。私は「人殺し」になってしまったのです。

現場は自宅近くの住宅街の片側一車線の直線道路でした。そして反対車線には歩道がありました。時間は夜の9時過ぎで、街灯がありましたが、薄暗い状況でした。被害者の方は、路肩の雪を避け、車道内を歩いていました。私は時速40kmで走行していました。ポケットに入れていた携帯電話の受信音が鳴り、ほんの数秒間、視線を携帯電話へと向けました。携帯電話に目を向ける前は、前方に車も歩行者もいないと認識していましたが、再び視線を前方に戻した時には、車の左前の避けきれない距離に人が見えました。咄嗟に右にハンドルを切りましたが、避けることができず、接触してしまいました。

接触後、ぼう然としましたが、すぐに車を停めず、50m程先の路肩に停車しました。私は後ろを振り返りましたが、離れた上に、薄暗い事から何も見えなかったことや、恐怖心と現実逃避したい気持ちから、「もしかしたら、大したケガをしていないのではないかなどと自分勝手に考え、現場から立ち去りました。家に帰るまでの十数分間に「戻らなきゃ」と何度も思ったのですが、その場を逃げてしまいたい恐怖心が強く、そのまま自宅まで戻ってしまったのです。

しかし、やっぱりこのまま逃げ続けて生きて行く事は出来ないと思い、現場に戻り、自首しました。通り掛った方が警察と救急に通報して下さいました。そのまま逮捕、取調べとなりました。

その後の裁判で、懲役1年10月の判決が下されました。私自身、そして皆さんが「短い」と思われるでしょう。ご遺族の方には、納得いかず、やり切れない思いを抱かせてしまったと感じています。手紙での謝罪、そして私の両親が直接、ご遺族の方に謝罪をさせていただきましたが、私が直接、ご遺族の方に謝罪する事もご仏前にお線香を上げさせて頂くことも出来ていません。また、お見舞金を送らせていただきましたが、受け取っていただけませんでした。大切なご家族の命を奪った人間とかかわりたくないのは当然です。また、私が逆の立場であれば同じ心情になるでしょう。

私はニュース等で「ひき逃げ事件」を目にし、「なんて無責任で身勝手な奴らだ」また刑期に対しても「人を殺してこんなに短いのか、こんな奴等なんて死んで償えば良いのに」と感じていました。

しかし、実際にニュースで見ていた事と同じ状況になった私は、「そんな奴等」と同じ過ちを犯したのです。まさか自分が「事故」を起こし、「事件」へと変えてしまうとは全く考えていませんでした。これは皆さんも同じ事だと思います。でも、可能性はハンドルを握る全員に等しくあるのです。交通違反が多い人も、ゴールド免許の人も変わらずに同じだけ交通事故を起こ



イラストは本文とは関係ありません

す可能性があるのです。当たり前過ぎて自覚している人は少ないのではないのでしょうか。

少し思い返してみてください。過去に「おっと、危ない」と運転中に思った事はありませんか。人それぞれ、大なり小なりいくつかある事かと思います。もちろん、私もありました。今回と同じように脇見をして、前の車に近づき過ぎたり、自転車や歩行者を見落とし、接触しそうになったりしたことがいくつもありました。「危なかった。気を付けないと」と、その時は思っていました。また、ギリギリ、間一髪でセーフだったということもありましたが、「自分は何かあった時も対処出来る」という間違った自信や安心感を生んでしまったのだと思います。本当は私の運転に対する警告だったのに気付く事なく、同じ行動を取り、今回の事件を起こしたのです。

そう考えてみるのでしょうか、あなたもすぐ近くに危険があると感じませんか。ハンドルを握る全員にこの事を自覚して欲しいです。いつかの「今」があなたの「今」になっているのです。慢心運転をしていれば、私のような「今」になってしまいます。直接謝ることさえ、簡単には出来ず、謝ったとしても一生許される事のない罪。この手記を読んでもくださったみなさんにそれを背負って欲しくありません。突然、大切な家族を奪われる人達も増えて欲しくありません。

運転をする時は、ほんの一瞬でも、気を抜いてはなりません。何の罪も無い無関係な人達の「今」を奪ってしまわぬように、確実に安全な「今」を築いてください。当事者になった私からの思いです。被害者の方、ご遺族の方。そして家族、親戚、友人、会社。周りの全ての人達を悲しみに落とし入れてしまいます。私はその罪を一生背負い、何をすることが償いになるのかも分からず、人生を償いとして生きていきます。これがいつかの「今」の延長戦です。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第52集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (公社)商連かながわ ————— 横浜市中区尾上町
- サンエス技研(株) ————— 横浜市都筑区北山田
- (株)二俣川自動車学校 ————— 横浜市旭区中尾

この人

146



浦賀交通安全協会
会長
岡 昌憲さん
おか まさのり



浦賀交通安全協会は、昭和23年4月1日に設立され、三浦半島の横須賀市南部に位置し、緑豊かな美しい山と海に包まれた風光明媚な地にあり、日本の歴史上、著名、かつ貴重な歴史や建造物等が多く点在する独特の伝統文化が継承されている所でもあります。

歴史的には享保5年(1790年)徳川幕府が江戸湾(東京湾)に出入りする船の検査と防衛のため浦賀警察署の前身とも言われる浦賀奉行所を設け、その後幕末に到り嘉永6年6月(1853年)アメリカ合衆国のペリー提督が率いる黒船4隻が浦賀沖に姿を現した事により、近代日本の開国の地となったところです。このような歴史ある町で平成17年6月から浦賀交通安全協会の会長として活躍されている岡会長をご紹介します。

会長は、昭和19年に地元の浦賀に生まれ育ち、関東学院大学在学中はヨット部に在籍し、大いに気力、体力の限界に挑戦したとのことで、後に国体ヨット競技の神奈川県監督に就任されるなど生涯スポーツマンであります。

また、地元でタクシー会社を経営するかたわら、横須賀商工会議所常設員、横須賀危険物安全協会会長、浦賀観光協会会長、横須賀ロータリークラブ会長など多くの役職に就かれるなど日々多忙を極めており、まさに母校大学の校訓である「人になれ、奉仕せよ」の

ボランティア精神を実施し、精力的に活動されております。

表彰歴は横須賀市長表彰をはじめ、県警察本部長表彰、交通栄誉章緑十字金章等を受賞されており、仕事上では一昨年、旭日雙光章の勲章を受章しております。

浦賀警察署管内の免許人口は10万7千人、鉄道駅は京浜急行、JR線合わせて10駅を数えまた、区域は山坂の多い地勢から交通量も多く、高齢者事故、二輪車事故が多く発生しており、浦賀警察署、横須賀市と緊密な連携を図り交通事故防止に努めております。

特に近年、高齢者の関わる交通事故が増加している事を懸念しており、高齢者に対する対策として、反射材の普及、シルバードライビングスクールの開催や高齢者が集う行事を捉えた交通安全ミニ教室などに重きを置いた活動の強化を図っているところです。各季の交通安全運動では広報啓発活動の先頭に立ち、協会役員と共に交通安全を強く呼びかけるなど積極的に活動をしています。

会長は「安心で安全な街づくり」「交通事故ゼロ」を常に掲げ活動を続けており、これからも警察、関係団体と一体となって市民が安全に歩ける街作りを成し遂げて頂きたいと

思います。
(取材協力：浦賀交通安全協会)

こんにちは
「麻生交通安全協会」です

麻生交通安全協会は麻生警察署創設とともに、昭和62年4月に多摩交通安全協会から分離独立し、昨年4月に創立30周年を迎えることができました。設立当初の会員数は、賛助会員60社、正会員530名、免許会員3,511名でしたが現在では、賛助会員は116社と増えておりますが、正会員、免許会員はいずれも半数近くに減少しておりその対策に苦慮しております。

麻生区は川崎市北部に位置し、他の都県からの転入者が多く、東京志向が強い「神奈川都民」と言われる方達が多く住んでいる新興住宅地域で、地元の交通安全協会に対する住民の意識が希薄な面も感じられ、今後、何らかの方策を検討していきたいと思っています。

今回は、当協会が取り組んでいる年間活動の中で最も大きなイベントである、真言宗麻生不動院「だるま市」についてご紹介します。毎年1月28日、関東近郊のだるま市としては最後に開催され、開催日が平日の年でも10万人余の人出があり、土日、祝祭日に当たる年には、15万人余の人出となります。

当日は、300店舗を超える露店が不動院周辺の狭い道路に出店し、歩行も困難になるくらいの賑わいとなり、通行止め規制が続きますので、交通整理、誘導にかかる負担は相当なものです。当協会会長以下役員、交通指導員全員が出勤し、麻生警察署及び県警機動隊員とともに交通整理、誘導に活躍しています。

次に大きなイベントは、秋の全国交通安全運動キャンペーンになります。毎年、民放テレビ局の女性キャスターを「一日警



察署長」に委嘱し、麻生警察署における出陣式の後、県警音楽隊を先頭に小田急線新百合ヶ丘駅南口まで交通安全パレードと駅前広場において交通事故防止キャンペーンを行っております。

今後も、警察署、区役所、関係機関団体と連携し交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組み、交通事故防止に効果的なキャンペーンを展開していきたいと考えています。

(東 記)

地区交通安全協会の活動紹介



三浦市 警察署前での交通安全運動



港北 日吉駅前での交通安全運動



戸部 横浜駅東口での交通安全運動



小田原 中里地区での交通安全運動



相模原北 国道16号橋本駅付近での交通安全運動



大船 大船駅周辺での交通安全運動



中原 武蔵小杉駅周辺での交通安全運動



磯子 杉田駅周辺での交通安全運動



横浜水上 警察署周辺での交通安全運動



川崎 川崎銀柳街での交通安全運動

交通安全街頭活動

インフォメーション

- 優良職員表彰式 ————— 3月2日(金) 県協会会館
- 第23回理事会 ————— 3月2日(金) 県協会会館
- 表彰審査委員会 ————— 3月9日(金) 県協会会館
- グッドライダーミーティング ————— 3月10日(土) 運転免許試験場